

第14回利賀ダム建設事業監理委員会資料

資料－1 利賀ダム建設事業の概要

資料－2 第13回委員会の審議結果

資料－3 事業の実施状況等に関する事項

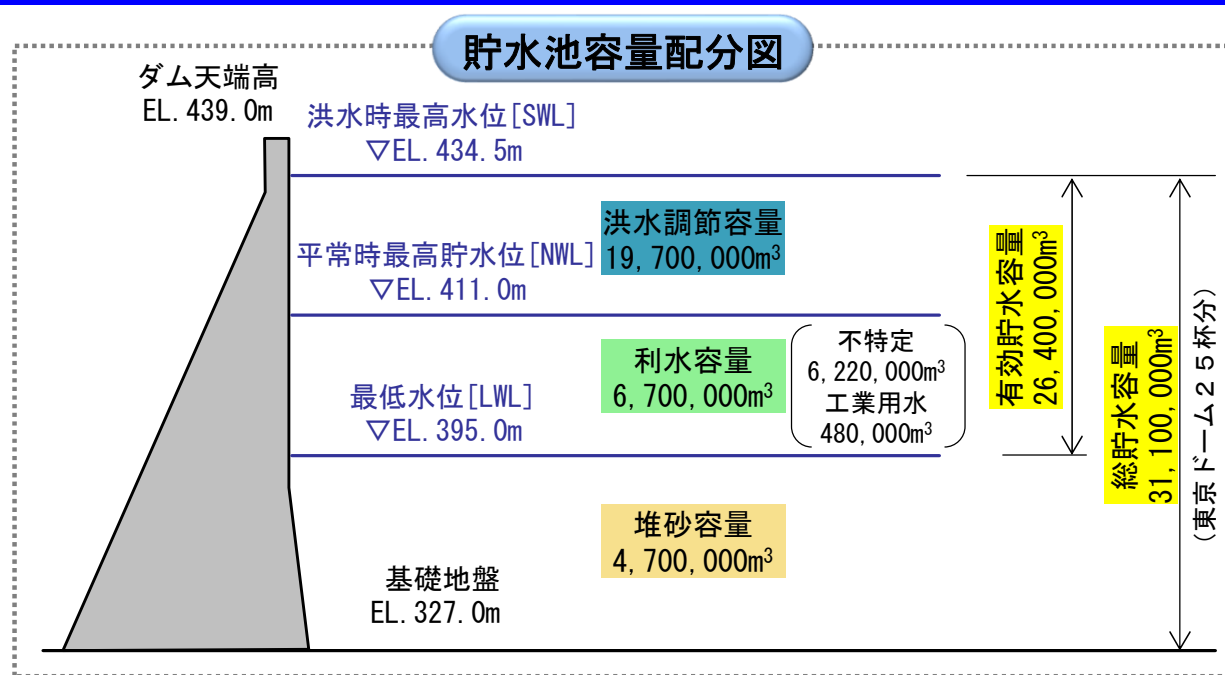
資料－4 利賀ダム建設事業の事業費について

参考－1 補足資料

利賀ダム建設事業の概要

北陸地方整備局 利賀ダム工事事務所

利賀ダムの諸元



■河川名

一級河川庄川水系利賀川

■位置

左岸：富山県南砺市利賀村押場地先

右岸：富山県南砺市利賀村草嶺地先

■総事業費

約1,640億円（現基本計画）

■工期

令和13年度完成予定（現基本計画）

■ダム諸元（現基本計画）

形式	重力式コンクリートダム
堤頂標高	EL.439.0m
堤高	112.0m
堤頂長	255.0m
堤体積	約50万m ³

■貯水池諸元

集水面積	95.9km ²
湛水面積	1.1km ²
設計最高水位	EL.437.0m
洪水時最高水位	EL.434.5m
平常時最高水位	EL.411.0m
最低水位	EL.395.0m
総貯水容量	31,100,000m ³
有効貯水容量	26,400,000m ³
堆砂容量	4,700,000m ³
洪水調節容量	19,700,000m ³
流水の正常な機能を維持するための容量	6,220,000m ³
工業用水容量	480,000m ³

利賀ダム建設事業の目的

■洪水調節

庄川の洪水氾濫から沿川地域を守り、また、急流河川特有の流水の強大なエネルギーから堤防の安全性を確保するため、利賀ダム地点において毎秒500立方メートルの洪水調節を行い、下流全川にわたり洪水の流量の低減を図ります。



H16.10.台風23号 庄川洪水観測史上最高水位を記録 2,840名に避難勧告

■流水の正常な機能の維持

庄川の安定した流量は、地域の生活や産業を支える用水をはじめ、水質の保全、良好な動植物の生息・生育環境に必要です。利賀ダムでは、庄川の流水の正常な機能の維持を図るための補給を行います。



鮎釣り

■工業用水

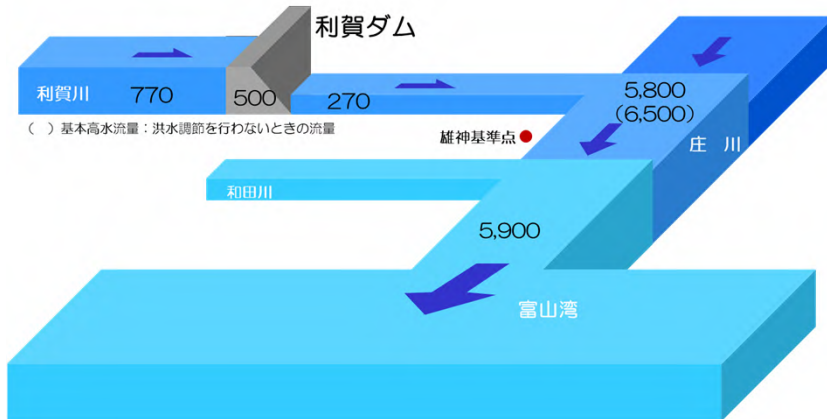
砺波工業団地で使用する工業用水として、富山県企業局が1日最大8,640立方メートルの取水が可能となるよう、利賀ダムにおいて新たな水需要量の開発を行います。



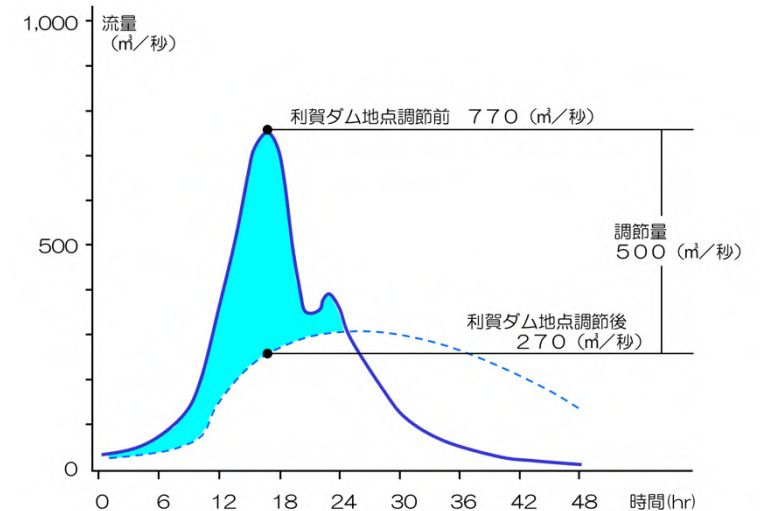
砺波工業団地



■流量配分図 (m³/s)



■洪水調節計画




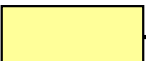



利賀ダム建設事業の経過

平成元年	5月	実施計画調査着手
平成5年	4月	建設事業着手
平成6年	11月	基本計画官報告示(H6.11.22:建設省告示第2234号)総事業費:約900億円、工期:平成元年度から平成20年度までの予定
平成12年	3月	利賀ダム工事用道路建設に伴う補償基準妥結
平成14年	12月	利賀ダム建設事業に伴う補償基準妥結(水没地)
平成15年	6月	利賀ダム工事用道路等(口山地区)補償基準妥結
	9月	水没家屋全戸(3戸)生活再建地へ移転完了
平成19年	7月	「庄川水系河川整備基本方針」策定(H19.7.2)
平成20年	7月	「庄川水系河川整備計画」策定(H20.7.14)
平成21年	3月	基本計画変更官報告示(H21.3.11:国土交通省告示第254号)総事業費:約1,150億円、工期:平成元年度から令和4年度までの予定
	12月	新たな基準に沿った検証の対象とするダム事業に区分
平成22年	11月	「利賀ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」を設立
		平成22年11月10日から平成28年6月5日まで4回の「検討の場」を開催
平成28年	7月	事業主体の対応方針案決定(H28.7.27)
	8月	ダム検証に係る対応方針決定(H28.8.25)
平成30年	10月	工事用道路部分完成・一般国道471号バイパス部分開通(南砺市利賀村栃原～長崎間)(H30.10.14)
令和2年	8月	基本計画変更官報告示(R2.8.31:国土交通省告示825号)総事業費:約1,640億円、工期:平成元年度から令和13年度までの予定
令和3年	3月	関西電力(株)と大牧発電所特殊補償に関する基本協定及び確認書を締結
		環境レポート「利賀ダム環境保全への取り組み」を公表
	11月	利賀ダム河床進入トンネル貫通(R3.11.4)
令和4年	5月	利賀ダム転流工トンネル着工式(R4.5.28)
令和6年	8月	利賀ダム本体並びに押場貯水池法面対策着工式(R6.8.11)
令和8年	2月	利賀トンネル(仮称)貫通(R8.2.3)

利賀ダム建設事業の進捗状況

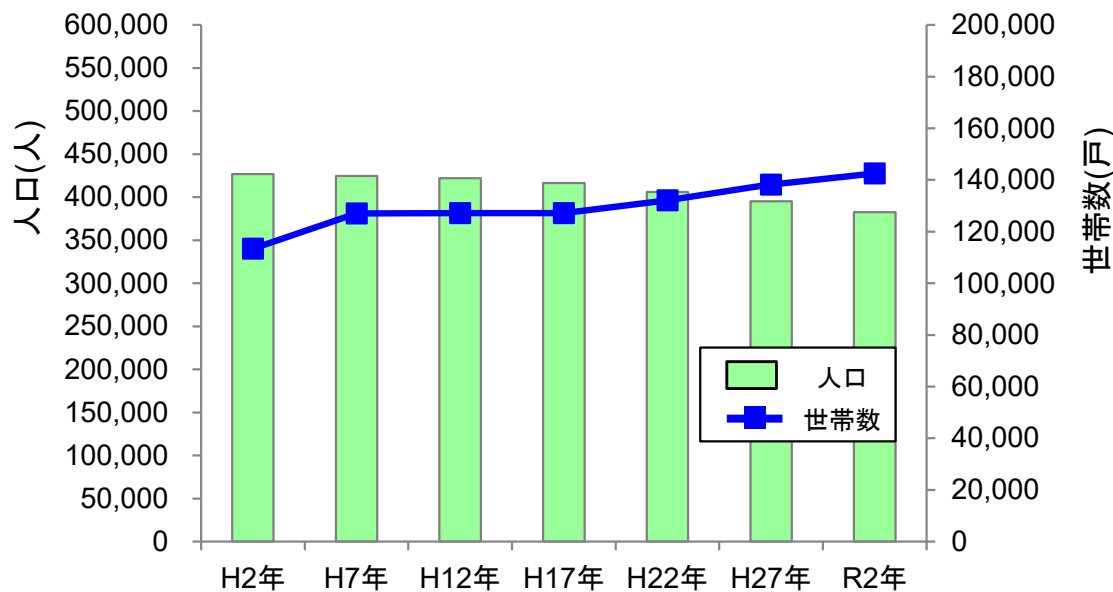
(令和8年3月末時点)

補償基準	H12. 3 利賀ダム工事用道路建設に伴う補償基準妥結 H14. 12 利賀ダム建設事業に伴う補償基準妥結 H15. 6 利賀ダム工事用道路等 (口山地区) 補償基準妥結	} 地権者との用地補償等に 係る基準は全て妥結
用地取得 (157ha)	77% (120ha)	
家屋移転 (3戸)	100% (3戸)	
代替地 (宅地)	100% (3戸移転済)	
付替市道 (3.0km)	93% (2.8km)	
工事用道路 (11.7km) ※現道改良区間を除く	97% (11.3km)	
ダム本体及び 関連工事	転流工 100% — 基礎掘削 80% — 本体打設 0% — 転流工閉塞 0% — 試験湛水 0% ※R5年度ダム本体工事契約	

※  用地取得  代替地  付替市道  工事用道路  本体関連

事業を巡る社会情勢等

- 庄川沿川の想定氾濫区域関連市町村(高岡市、射水市、砺波市、南砺市、小矢部市)人口は40万人程度で近年減少傾向が見られるが、平成27年3月に北陸新幹線が開業し、人・経済・文化等の幅広い交流・流通拠点として、今後更なる地域開発が期待されている。令和6年度から火災保険制度改定により、水害リスクについて5段階評価が適用されるが、人口・資産が集中する高岡市、射水市では最高位の5等地とされ、治水安全度の一層の確保が求められる。



※H2年～R2国勢調査結果による

図 想定氾濫区域 関連市町村人口推移

